

木造阿弥陀如来及び両脇侍像



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうあみだによらいおよびりょうわきじぞう
所在地	備前市伊部 長法寺
指定年月日	平成6年4月5日
解説	檜材の割矧造(わりはぎづくり)で、像高は阿弥陀如来像が112.5cm、左脇侍が137.0cm、右脇侍が134.5cm。定朝様を引く優美平明な藤原和様の典型作。県下では平安時代後期の作で、中尊と両脇侍が揃っている現存唯一の三尊仏であり、保存状態も極めてよく、貴重な作例である。
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	
備考	33年に一度開扉されます。(以前は平成5年に公開されました。)